

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

第15回 飯樋流し盆踊り大会



▲子どもたちが多く参加した今年の大会

初の「浴衣コンテスト」も開催

飯樋流し盆踊り実行委員会（細山利文実行委員長）主催による「第15回飯樋流し盆踊り大会」が飯樋町地内で行われ、多くの住民や帰省客らで賑わいました。
14日は、地元の踊り子たちが「飯樋盆唄」に合わせて街中を踊り流したほか、飯樋小学校の児童たちが「飯唄小唄」の踊りを元気いっぱい披露しました。
また、今回は15回目の

記念大会として、村第5次総「つながりプラン」の補助を受け、浴衣コンテストと大抽選会も実施されました。浴衣コンテストには、村内外から団体や個人など合わせて56組が出場、華やかな大会となりました。



▲飯樋小の児童たちによる「飯唄小唄」

雨天により16日に延期して行われた仮装盆踊りには、34組が出場。テレビやゲームのキャラクター、「までい」にちなんだものなど、趣向を凝らした仮装の列が観客の目を引いていました。



▲楽しい仮装がたくさん登場

モーターボートに歓声

7/31 「はやま湖」森と湖まつり2005

今年で14回目を迎えた「はやま湖」森と湖まつり」は、大倉の真野ダム周辺を会場に開催されました。
このまつりは、人々に森や湖に親しんでもらい、

森林やダムなどの重要性について理解してもらうことを目的に、真野ダム事務所などが毎年「森と湖に親しむ旬間」の期間に合わせて開催しているものです。

まつりでは、普段は立ち入ることのできないダム施設の内部や水力発電所、取水トンネルの見学をはじめ、モーターボートによる湖上遊覧、森林教室、丸太切り競争など様々な催しが行われ、多くの家族連れなどで賑わいました。



▲一番人気のモーターボート遊覧

8/6 みんな一緒に楽しく盆踊り

8/6 いたてホームで夏まつり

特老「いたてホーム」の夏まつりがホーム前庭と駐車場で開催され、入居者らが家族や親戚、地域の方々と一緒に、一足早い盆踊りを楽しみました。
まつりでは、ホーム職員によるヨサコイ踊りをはじめ、中学生による神輿、入居者らのカラオケ大会などが行われ、まつりを盛り上げました。

また、会場には焼き鳥や焼きそば、かき氷などの模擬店が並び、買い求める人たちの列ができていました。

まつりの最後に行われた盆踊りでは、入居者とその家族らが、やぐらを囲んで踊りの輪をつくり、一足早い夏の風物詩を楽しんでいました。



▲大盛況の模擬店



▲みんなでやぐらを囲み盆踊り



▲ホーム職員が仮装してヨサコイ踊り

スポーツ功労賞

に

7/31 大内雄治さん 管野清さん

7/31

体育協会の役員を永年務め、地域のスポーツ振興に功績があったとして、大内雄治さん（八木沢・芦原）と管野清さん（草野）に、スポーツ功労賞が贈られました。
表彰式は、双葉町で開催された「第58回福島県総合体育大会県民スポーツ相双地域大会」の開会式席上で行われ、市町村体育協会相双地域連合会の岩本忠夫会長から二人にそれぞれ賞状が手渡されました。



▲大内雄治さん



▲管野清さん

みんなの道路をきれいに

7/31

深谷子ども会育成会 空き缶拾い活動



▲ゴミを拾い歩く会員たち

深谷子ども会育成会（佐久間正会長）では、夏休み中の事業として、早朝に親子で空き缶拾い活動を行いました。
この日は、約30人の親子が参加し、深谷地区の県道と村道沿いに投げ捨てられた空き缶を拾い集めました。

9月9日は「救急の日」

9月9日は「救急の日」、そして9月4日から9月10日までの1週間は「救急医療週間」です。この機会に、万一の急病やケガの際の対応をご家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

消防飯館分署の集計結果では、今年1月からの救急車の出動回数は、7月末現在で176件と、前年同期に比べて21件増えています。出動の内訳は、急病が最も多く137件で、全体の約78%を占めています。年代では、65歳以上の方が94件で、全体の約68%です。

AED (自動体外式除細動器) 講習を受講しましょう

飯館分署では、平成7年から普通救命講習会を開催しており、今年7月末現在で135回、延べ2,766人が受講しています。この受講者数は人口比約40%で、全国的に見ても高い数字です。

一方、昨年7月から一般の方にもAED (自動体外式除細動器) の使用が認められました。この機器は、突然

倒れた方の多くが発症している不整脈に対して、除細動 (一般的には電気ショック) を行うもので、一般の方にも安全かつ有効に使用でき、すでに全国では一般の方がAEDを使用している救命事例が多く報告されています。

現在、普通救命講習会の中に、そのAED講習も組み込まれていますので、初めての方はもとより、過去に受講された方であっても再受講をおすすめします。詳しくは、飯館分署救急係 (0119) までお気軽にご連絡下さい。



▲AEDトレーナー



明るいあいさつの 社会奉仕を

毎日のように殺傷事件があり、心が痛むばかりです。

先日読んだ本に、おもしろい(?) 話が載っていました。題は「名医の処方」で約300年前の漢方医の話です。

ある夜中に一人の女性が訪ねて来て、「先生、一生のお願いですから、毒薬を一服つけて下さい」と、ただならぬまじり。

「何に使つのか」

「お母さん(姑)に死んでもらうのです」
その家の嫁姑の犬猿の仲は、評判だった。ここで断つたら、嫁の方が自殺するとみてとった医者は「よし、分かった」と、「一服で殺せば、あなたがやっただとすぐバレルし、私も打首だ。だから、毎日一服ずつ飲ませれば3ヶ月後に死ぬよう調合するから」と言いな

から、さらに諭した。「3ヶ月のわずかの辛抱だ。お母さんにやさしい言葉をかけて、手足をよくもんであげなさい」と。

2ヶ月ほどたったある夜、姑が嫁にむかって「今日はあなたに謝りたい。りっぱな嫁になって欲しくて色々言ってきたが、もう大丈夫。明日から一切まかせて、私は隠居します」

嫁は大変後悔し、名医のところに駆け込み、「先生、急いで毒消しの薬をついて下さい」と涙ながら両手をついて頼む嫁に、医者は「心配ないよ。あれはただのソバ粉だよ」と。

今、飯館村でも「あいさつを」、「大人から」という運動をすすめています。「笑顔のあいさつ」が、どれほど周囲を明るくするか計り知れません。

ちよっと目もとの筋肉を動かして、わずかに一言二言話すだけで、人は幸福を与えることができるのですから、ケチる必要もありません。

社会奉仕とかボランティアの時代と言われますが、笑顔の明るいあいさつに勝る社会奉仕はないかもしれません。一日に一人を喜ばせれば、10年で3,650人。素晴らしい運動になりますね。

平成17年8月29日

飯館村長 菅野 典雄

横山チヨさん 満100歳



▲稲村副所長から祝賀を受け取る横山チヨさん

8/19

ホームで賀寿祝い

「いいいたてホーム」に入居されている横山チヨさんが、満100歳の誕生日を迎えられ、入居者や職員、いいいたて福祉会の理事など約140人が出席し、ホーム東棟ホールで賀寿祝いが行われました。

チヨさんは、ハワイ生まれの日系2世で、62歳の頃に来日され、先祖が過ごした浪江町で生活。平成12年6月から「いい

いたてホーム」に入居されています。

賀寿祝いでは、はじめにセレモニーが行われ、相双保健福祉事務所の稲村忠衛副所長から、知事賀寿と記念品の木杯、さらに知事直筆の色紙がチヨさん本人へ手渡されました。

続いて、村から報奨金が贈られたほか、福島県老人クラブ連合会からも賀寿が贈呈されました。

セレモニー後には、ホームの「チヨさんの賀寿を祝う会」が行われ、職員からチヨさんへ花束や記念品、千羽鶴などがプレゼントされました。また、10本のローソクを立てた大きな特製ケーキも用意。チヨさんと職員が一緒にローソクの火を吹き消しました。引き続き行われた祝い宴では、職員らによる花笠踊りやフラダンスが披露されるなど、和やかな雰囲気の中、みんなでチヨさんの賀寿をお祝いしました。



▲職員によるフラダンス

飯館中サッカー部が初出場

8/5・6・7

ユース (15歳以下) サッカー選手権福島県大会



▲熱戦を繰り広げる選手たち (白いユニフォームが飯館中)

今年の「福島県ユースサッカー選手権・高円宮杯ユースサッカー選手権福島県大会」の一次リーグが、県内12カ所の会場で開催されました。この大会は、福島県サッカー協会などが毎年開催しているものです。今年には地区予選会の上位チーム合わせて52チームが出場しました。このうち、飯館スポーツ公園陸上競技場の会場

では、飯館中、古河電池FC (いわき市)、郡山第二中 (郡山市)、蓬萊中 (福島市) の4チームが熱戦を繰り広げました。今回、相双地区予選会で5位に入り、初の県大会出場となった飯館中サッカー部。惜しくも決勝リーグ進出はなりませんでしたが、選手たちは家族や仲間から大きな声援を受け、懸命にボールを追いかけました。

スポーツカーニバル2005

8/20・21 スポーツで爽やかな汗



▲子供も参加したゲートボール大会



▲ナイスショット! グランドゴルフ大会



▲激戦を繰り広げた野球大会



▲スポーツ講演会のようす

飯館村体育協会（大内雄治会長）主催の「スポーツカーニバル2005」が、スポーツ公園陸上競技場をメイン会場に開催され、参加者らは各種スポーツに汗を流しました。

今回のイベントでは、飯館バドミントンクラブ結成22周年記念大会やスポーツ少年団野球大会、グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、野球連盟理事長杯、ニススポーツなど、関係団体による多彩なスポーツが行われ、参加者らは楽しく汗を流していました。

また、飯館中体育館では「スポーツ講演会」が行われ、元つつくしま広域スポーツセンター事務局長の佐久間貞良先生が「中高年の楽しい健康づくり」をテーマに、ボールを使って楽しくできる軽運動などを指導しました。

飯館村野球連盟 理事長杯大会

村内から中学生チームを含む8チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

ファーマーズとJAそうまによる決勝戦では、JAそうまが劇的なサヨナラ勝ちを収め、念願の優勝カップを手にしました。

大会結果

優勝 JAそうま

準優勝 ファーマーズ

第3位 12区野球クラブ、ファイターズ



▲優勝したJAそうまの選手たち

6年生62人が感動体験

8/21~25

夏休み最後の思い出

第8回海洋アドベンチャースクール



▲北海道に向かう船の上で

洋上生活や北海道の大自然の中での活動等を通して、子供たちの頑張る力や人を思いやる心を養ってもらうと、村が平成10年から実施している「海洋アドベンチャースクール」。今回が8回目の船出となりました。

当初は、7月25日から30日の日程でしたが、出発日に台風7号が接近したため、8月に延期して実施しました。

8月21日

仙台港からフェリーに乗り北海道へ。船内では、たくさんのお料理を囲んで船上パーティーが行われ、レクリエーションなどを楽しみました。

8月22日

アイヌの伝統料理や古式舞踊などを体験。



▲アイヌの楽器「ムツクリ」の演奏体験

8月23日

俱知安町で、ジャガイモ掘りや町内探検、さらに北陽小学校の子供たちと交流活動を行いました。



▲ジャガイモたくさん穫れた

8月24日

尻別川でラフティング（川下り）に挑戦。急流の川を、子供たちは力を



▲ラフティング（川下り）

8月25日

5日間わたる活動を終え、一行は貴重な体験と感動を胸に、元気に帰村しました。



▲公民館で最後のI K A S コール



地区の安全見守ります

▲結成された見守り隊の隊員ら



▲鈴木係長から帽子や腕章を受け取る荒隊長



▲パトロールに出発する隊員ら



▲中庭で行われた夏まつり



▲出店は子どもたちに大人気

8/6 「飯樋町やさしく見守り隊」発隊式

村で初めての防犯と青少年健全育成のボランティア組織「飯樋町やさしく見守り隊」の発隊式が、飯樋町集会所で開かれ、隊員ら40人が出席した。飯樋町集会所で開かれた。隊員ら40人が出席した。飯樋町集会所で開かれた。隊員ら40人が出席した。

長あいさつに続き、長正助役と原町警察署の野口副署長から、隊の活動に期待するあいさつが述べられました。続いて、原町警察署生活安全課の鈴木係長から荒隊長へ、活動時に着用する帽子と腕章、タスキが贈られました。隊発隊式後には、隊員らが2班に分かれ、地区内をパトロールしました。このパトロールは、毎月の定期活動のほか、地区行事などの際にも実施されます。

7/30 やまゆり保育所夏まつり

やまゆり保育所の夏まつりが、保育所の中庭で行われました。この夏まつりは、保育所が2歳児を対象に初めて行ったもので、当日は浴衣や甚平を着た子どもたちとその保護者ら約50人が参加。夏まつりでは、焼きそばやジュースなどの出店をはじめ、スーパーボールすくいや職員に

まつりのテーマは「アンパンマン」で、子供たちは各出店を回って顔のパーツを集め、アンパンマンのお面を完成させたり、全員でアンパンマン音頭を踊ったりと、参加した親子たちは楽しいひと時を過ごしていました。

菅野芳彦君 高野 真君 ウェイトリフティング全国大会出場報告 菅野君が7位入賞



▲全国大会に出場した高野君（写真左）と菅野君（写真右）

8月に千葉県で開催された、今年の「全国高等学校総合体育大会」のウェイトリフティング（重量挙げ）に出場した、川俣高校3年の菅野芳彦君（比叡）と高野真君（前田・八和木）が会場を訪れ、菅野村長に出場の報告をしました。

今回、ウェイトリフティングには県内から川俣高校を含め7校が、全体では154校が参加しました。ウェイトリフティングは、団体の部と個人の部があり、個人の部は体重

別に階級が分かれていきます。菅野君は62kg級、高野君は69kg級に出場このうち、菅野君が7位に入賞しました。また、団体の部では、県内参加校で最上位となる総合10位に入りました。

菅野君は「自己ベストには届かなかったが、自分の力は出せた。高野君は「入賞できなかったが、自己ベストに近い結果が出たので満足している」と、出場しての感想をそれぞれ話していました。

川俣高校のウェイトリフティング部は、伝統的に飯館中卒者が多く、現在も1〜2年生の部員8人のうち6人が飯館中卒者とのこと。

今後も、飯館中卒者の部員をはじめ、同部の活躍が期待されます。



▲感謝状を受け取る菅野さん

8/4 菅野昌徳さんに 育成に尽力 振興局長感謝状

相双地区納税貯蓄組合連合会の会長や県納税貯蓄組合連合会の副会長を務めるなど、県税に対する功績が大きいとして、菅野昌徳さん（宮内）に相双地方振興局長（宮内）に相双地方振興局長感謝状が贈られました。

贈呈式は役場村長室にて行われ、相双地方振興局長の伏見次長から菅野さんへ感謝状が手渡されました。

感謝状を受け取った菅野さんは「これを期に、今後も納税意識の高揚に努めていきたい」と抱負を話していました。



▲収穫されたナス

これはバナナ？ それとも…

杉浦さん家の 珍しいナス

8/4

杉浦光一さん（伊丹沢）の畑で、珍しい形のナスが収穫されました。長さ20センチほどのナスが、バナナのように3本つながついています。また、同じように2本つながついたものも。収穫したミツ代さんは「こんなのは初めて」と、ナスを見つめながら話していました。